FTP、SSH、および SCP アクセス

この付録は、次のセクションで構成されています。

IP インターフェイス

IP インターフェイスには、ネットワークへの個別の接続に必要なネットワーク設定データが含まれています。1 つの物理イーサネット インターフェイスに対して複数の IP インターフェイスを設定できます。IP インターフェイスまたは両方にインターネット プロトコル バージョン 4（IPv4）または IP Version 6（IPv6）を割り当てることができます。

表 *1*: インターフェイスに対してデフォルトでイネーブルになるサービス

		デフォルトで有効かどうか	
サービス	デフォルト ポート	管理インターフェイス[1]	新規作成されたインターフェイス
FTP	21	×	非対応
SSH	22	対応	非対応
HTTP	80	対応	非対応
HTTPS	443	対応	非対応

[1] ここに示す「管理インターフェイス」の設定は、Cisco C170 電子メールゲートウェイの Data 1 インターフェイスのデフォルト設定でもあります。

- グラフィカル ユーザ インターフェイス（GUI）を使用して電子メールゲートウェイにアクセスする必要がある場合は、インターフェイスで HTTP、HTTPS、またはその両方をイネーブルにする必要があります。

- 設定ファイルのアップロードまたはダウンロードを目的として電子メールゲートウェイにアクセスする必要がある場合は、インターフェイスでFTPをイネーブルにする必要があります。
- Secure Copy（scp）を使用しても、ファイルをアップロードまたはダウンロードできます。

IP インターフェイス経由のスパム隔離への HTTP または HTTPS アクセスを設定できます。

電子メール配信および仮想ゲートウェイの場合、各 IP インターフェイスは特定の IP アドレスおよびホスト名を持つ 1 つの仮想ゲートウェイ アドレスとして機能します。インターフェイスを独立したグループに（CLI を使用して）「参加」させることもできます。システムは、電子メールの配信時にこれらのグループを順番に使用します。

仮想ゲートウェイの参加またはグループ化は、大規模な電子メール キャンペーンを複数のインターフェイス間でロード バランシングする際に役立ちます。VLAN を作成し、他のインターフェイスと同様に（CLI を使用して）設定することもできます。詳細については、高度なネットワーク構成を参照してください。

関連項目

- AsyncOS によるデフォルト IP インターフェイスの選択方法 （2 ページ）

AsyncOS によるデフォルト IP インターフェイスの選択方法

AsyncOS は、[ネットワーク（Network）]>[IPインターフェイス（IP Interfaces）]ページまたは `ifconfig` CLI コマンドで表示された最も小さな番号の IP アドレスに基づいてデフォルト IP インターフェイスを選択します。当該のサブネット上に存在するリストの最初のIPインターフェイスが使用されます。

同一サブネット内で複数のIPアドレスがデフォルト ゲートウェイとして設定されている場合、最も小さな番号の IP アドレスが使用されます。たとえば、次の IP アドレスが同一サブネット内で設定されているとします。

- `10.10.10.2/24`
- `10.10.10.30/24`
- `10.10.10.100/24`
- `10.10.10.105/24`

AsyncOS はデフォルトの IP インターフェイスとして `10.10.10.2/24` を選択します。

電子メールゲートウェイへの FTP アクセスの設定

手順

ステップ 1 [ネットワーク（Network）]>[IPインターフェイス（IP Interfaces）]ページまたは `interfaceconfig` コマンドを使用して、インターフェイスに対して FTP アクセスをイネーブルにします。

FTP、SSH、および SCP アクセス

危険 サービスを interfaceconfig コマンドでディセーブルにすると、CLI との接続が解除されることがあります。これは、電子メールゲートウェイにどのように接続しているかによって異なります。別のプロトコル、シリアルインターフェイス、または管理ポートのデフォルト設定を使用して電子メールゲートウェイに再接続できない場合は、このコマンドでサービスをディセーブルにしないでください。

ステップ 2 変更を送信し、保存します。

ステップ 3 FTP 経由でインターフェイスにアクセスします。インターフェイスに対して正しい IP アドレスを使用していることを確認します。次に例を示します。

```
$ ftp 192.168.42.42
```

（注） ブラウザの多くは、FTP 経由でもインターフェイスにアクセスできます。

ステップ 4 実行しようとする特定のタスクのディレクトリを参照します。FTP 経由でインターフェイスにアクセスしたら、次のディレクトリを参照し、ファイルをコピーおよび追加（「GET」および「PUT」）できます。次の表を参照してください。

ディレクトリ名	説明
/configuration	以下のコマンドからのデータがこのディレクトリにエクスポートされるか、このディレクトリからデータがインポート（保存）されます。 • Virtual Gateway マッピング（altsrchost） • XML 形式の設定データ（saveconfig、loadconfig） • ホスト アクセス テーブル（HAT）（hostaccess） • 受信者アクセス テーブル（RAT）（rcptaccess） • SMTP ルート エントリ（smtproutes） • エイリアス テーブル（aliasconfig） • マスカレード テーブル（masquerade） • メッセージ フィルタ（filters） • グローバル配信停止データ（unsubscribe） • trace コマンドのテスト メッセージ • セーフリスト/ブロックリスト バックアップ ファイル（*slbl*<タイムスタンプ><シリアル番号>*.csv* 形式で保存）
/antivirus	Anti-Virus エンジンのログ ファイルが保存されるディレクトリです。このディレクトリにあるログ ファイルを検査して、ウイルス定義ファイル（scan.dat）の成功した最終ダウンロードを手動で確認できます。

ディレクトリ名	説明
/configuration /system_logs /cli_logs /status /reportd_logs reportqueryd_logs /ftpd_logs /mail_logs /asarchive /bounces /error_logs /avarchive /gui_logs /sntpd_logs /RAID.output /euq_logs /scanning /antispam /antivirus /euqgui_logs /ipmitool.output	`logconfig` コマンドと `rollovernow` コマンドを使用する**ロギング**用に自動的に作成されます。各ログの詳細については、ログを参照してください。 ログ ファイル タイプの違いについては、「ログ ファイル タイプの比較」を参照してください。

ステップ 5 ご使用のFTPプログラムを使用して、適切なディレクトリに対するファイルのアップロードおよびダウンロードを行います。

セキュア コピー（scp）アクセス

クライアント オペレーティング システムで secure copy（`scp`）コマンドをサポートしている場合は、前述の表に示すディレクトリ間でファイルをコピーできます。たとえば、次の例では、ファイル `/tmp/test.txt` は、クライアントマシンからホスト名が `mail3.example.com` の電子メールゲートウェイの configuration ディレクトリにコピーされます。

コマンドを実行すると、ユーザ（admin）のパスフレーズを求めるプロンプトが表示されることに注意してください。この例を参考用としてだけ示します。特殊なオペレーティング システムの secure copy の実装方法によって異なる場合があります。

```
% scp /tmp/test.txt admin@mail3.example.com:configuration

The authenticity of host 'mail3.example.com (192.168.42.42)' can't be established.

DSA key fingerprint is 69:02:01:1d:9b:eb:eb:80:0c:a1:f5:a6:61:da:c8:db.

Are you sure you want to continue connecting (yes/no)? yes

Warning: Permanently added 'mail3.example.com ' (DSA) to the list of known hosts.

admin@mail3.example.com's passphrase: (type the passphrase)

test.txt 100% |***************************| 1007 00:00

%
```

この例では、同じファイルが電子メールゲートウェイからクライアントマシンにコピーされます。

```
% scp admin@mail3.example.com:configuration/text.txt .

admin@mail3.example.com's passphrase: (type the passphrase)

test.txt 100% |***************************| 1007 00:00

%
```

電子メールゲートウェイに対するファイルの転送および取得には、セキュアコピー（scp）を FTP に代わる方法として使用できます。

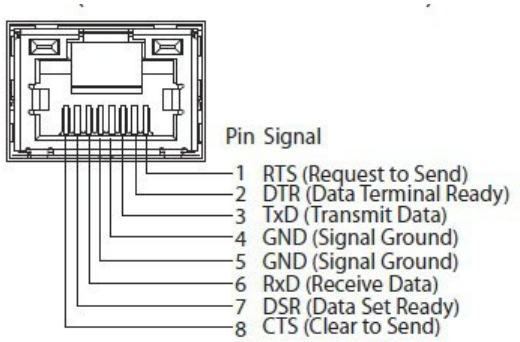
（注） operators グループおよび administrators グループのユーザのみが、電子メールゲートウェイへのアクセスにセキュアコピー（scp）を使用できます。詳細については、ユーザの追加を参照してください。

シリアル接続経由での 電子メールゲートウェイへのアクセス

シリアル接続を介して電子メールゲートウェイに接続する場合は、コンソールポートに関する次の情報を使用します。

このポートの詳細については、アプライアンスのハードウェア インストール ガイドを参照してください。

80 および 90 シリーズ ハードウェアでのシリアル ポートのピン割り当ての詳細



70 シリーズ ハードウェアでのシリアル ポートのピン割り当ての詳細

次の図に、シリアル ポート コネクタのピン番号を示し、以下の表でシリアル ポート コネクタのピン割り当てとインターフェイス信号を定義します。

図 *1:* シリアル ポートのピン番号

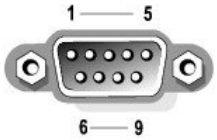


表 *2:* シリアル ポートのピン割り当て

ピン	信号（Signal）	I/O	定義（Definition）
1	DCD		データ キャリア検出
2	SIN		シリアル入力
3	SOUT		シリアル出力
4	DTR		データ ターミナル レディ
5	GND	適用対象外	信号用接地
6	DSR		データ セット レディ
7	RTS		送信要求
8	CTS		送信可

FTP、SSH、および SCP アクセス

ピン	信号（Signal）	I/O	定義（Definition）
9	RI		リング インジケータ
シェル	適用対象外	適用対象外	シャーシ アース

FTP、SSH、および SCP アクセス

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。